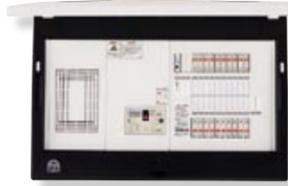


enステーション ELR-SK 樹脂製/露出型

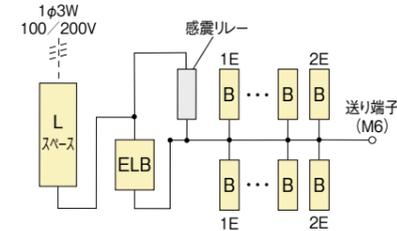
感震ブレーカ機能付

単3 リミッタースペース付

主幹：漏電ブレーカ(ELB)中性線欠相保護付



●回路図 ELR-SK



分岐数+スペース数	主幹容量	分岐数内訳		EXスペース数	品番	標準価格(円)	外形寸法(mm) タテ×ヨコ×フカサ
		一般回路20A	IH対応30A(200V)				
12+0	60A	12	—	4	ELR 6120-SK	45,600	320×430×110
16+0	60A	16	—	4	ELR 6160-SK	50,900	320×470×110
20+0	60A 75A	20	—	4	ELR 6200-SK ELR 7200-SK	56,900 62,900	320×470×110
24+0	60A 75A	24	—	4	ELR 6240-SK ELR 7240-SK	64,400 70,400	320×510×110
28+0	60A 75A	28	—	4	ELR 6280-SK ELR 7280-SK	71,900 77,900	320×510×110
32+0	60A 75A	32	—	4	ELR 6320-SK ELR 7320-SK	79,400 85,400	320×590×110
36+0	60A 75A	36	—	4	ELR 6360-SK ELR 7360-SK	85,400 91,400	320×590×110
40+0	60A 75A	40	—	4	ELR 6400-SK ELR 7400-SK	91,400 97,400	320×590×110

enステーション ENR-SK 樹脂製/露出型

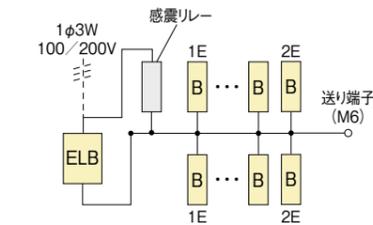
感震ブレーカ機能付

単3 リミッタースペースなし

主幹：漏電ブレーカ(ELB)中性線欠相保護付



●回路図 ENR-SK



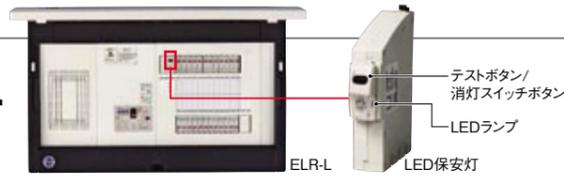
分岐数+スペース数	主幹容量	分岐数内訳		EXスペース数	品番	標準価格(円)	外形寸法(mm) タテ×ヨコ×フカサ
		一般回路20A	IH対応30A(200V)				
12+0	60A	12	—	4	ENR 6120-SK	38,900	320×330×110
16+0	60A	16	—	4	ENR 6160-SK	44,900	320×330×110
20+0	60A 75A 100A	20	—	4	ENR 6200-SK ENR 7200-SK ENR 1200-SK	50,900 56,900 65,900	320×370×110
24+0	60A 75A 100A	24	—	4	ENR 6240-SK ENR 7240-SK ENR 1240-SK	58,400 64,400 74,900	320×430×110
28+0	60A 75A 100A	28	—	4	ENR 6280-SK ENR 7280-SK ENR 1280-SK	65,900 71,900 82,400	320×430×110
32+0	60A 75A 100A	32	—	4	ENR 6320-SK ENR 7320-SK ENR 1320-SK	71,900 77,100 86,100	320×430×110
36+0	60A 75A 100A	36	—	4	ENR 6360-SK ENR 7360-SK ENR 1360-SK	79,400 85,400 94,400	320×470×110
40+0	60A 75A 100A	40	—	4	ENR 6400-SK ENR 7400-SK ENR 1400-SK	85,400 91,400 100,400	320×470×110

住宅用分電盤高機能規格適合品(認定マーク付)

防災関連

enステーション(LED保安灯付) ELR-L・ENR-L

停電時にLED保安灯が自動点灯。
暗闇の中でもホーム分電盤の位置がわかります。



●仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。●掲載価格には消費税は含まれておりません。

カタログ記載内容: 2016年4月現在

ご用命は



ISO14001 は陸地区、水保地区、つくば地区、大崎地区、札幌地区での登録です。

河村電器産業株式会社

本社 愛知県瀬戸市暁町3番86 〒489-8611
http://www.kawamura.co.jp/

北海道支店 TEL(011)821-5311 中部支店 TEL(052)930-6350
東北支店 TEL(022)297-2141 北陸支店 TEL(076)269-3555
東京支店 TEL(03)5759-0020 近畿支店 TEL(06)6264-1801
北関東支店 TEL(048)666-3700 中四国支店 TEL(082)568-1625
南関東支店 TEL(045)444-2240 九州支店 TEL(092)534-6110

M160403

感震ブレーカー分電盤タイプ対応製品

カワムラの

防災
技術

新型

感震ブレーカ機能付ホーム分電盤

enステーション

地震感知による主幹ブレーカの遮断に震度と遮断までの時間を設定できる機能を追加しました。

新型感震リレーは大切なご自宅を地震における電気火災からお守りします。

新型センサーの搭載で

利用環境に合わせ
震度と遮断までの時間を設定できる
感震リレー!

ELR-SK ENR-SK
リミッタースペース付 リミッタースペースなし

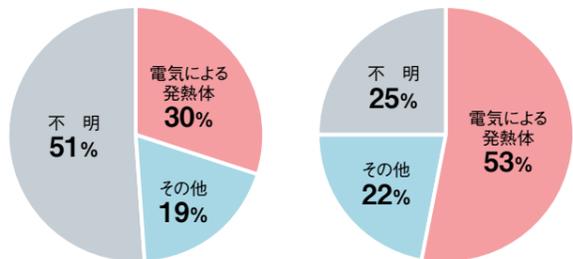


河村電器産業株式会社

地震のときの電気火災には、発生直後の火災と停電から電気が復旧した際の通電火災があります。

阪神淡路大震災では、火災によって7千棟以上の住宅が焼失しました。原因が特定できた火災のうち、最も多かったのが「電気機器や配線に関する火災」でした。建物が激しく揺れて、家具・家電が転倒、散乱する中で、電気ストーブや照明器具が洗濯物やカーテンなどの可燃物と接触することで火災が発生しました。また、地震発生後は多くの世帯で停電が発生しますが、ブレーカを落とさずに避難すると、電気が復旧した際に、通電状態となった電気機器や傷んだ配線が火元となって火災（通電火災）が発生しました。

■大地震における出火原因



阪神淡路大震災 (平成7年1月)
総務省消防庁「平成7年 火災年報(別冊)」を基に作成

東日本大震災 (平成23年3月)
総務省消防庁「平成23年 火災年報(別冊)」を基に作成

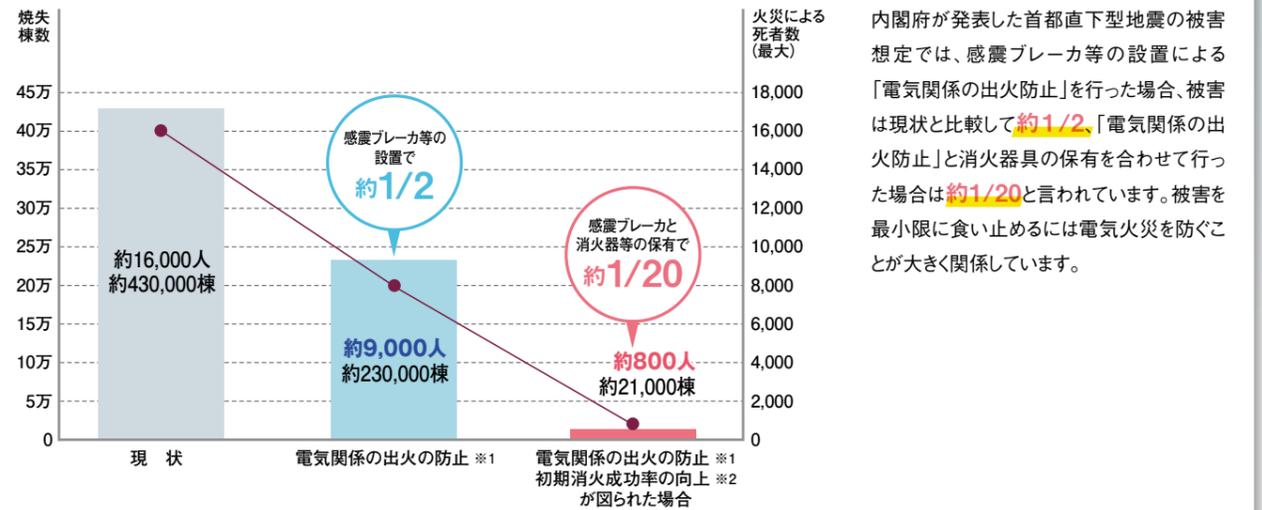
■通電火災発生件数 阪神淡路大震災(神戸)



地震発生から8日も経って火災が発生!

これから起こる大地震に過去の教訓は活かれます!

■都心南部直下地震の被害想定と対策について



内閣府が発表した首都直下型地震の被害想定では、感震ブレーカ等の設置による「電気関係の出火防止」を行った場合、被害は現状と比較して約1/2、「電気関係の出火防止」と消火器具の保有を合わせて行った場合は約1/20とされています。被害を最小限に食い止めるには電気火災を防ぐことが大きく関係しています。

※1 感震ブレーカ等の設置による「電気関係の出火の防止」
 ※2 家庭用消火器・簡易消火器具等の保有および風呂水のためおきといった「消火資機材保有率の向上」、「住宅用火災警報器設置率の向上」、自主防災組織・自治会などでの防災訓練の実施等による「消火・避難等訓練経験率の向上」、また建物の耐震化及び家具等の転倒・落下防止対策の実施による「防災行動可能率の向上」などを促進することによる「初期消火成功率の向上」により、現状よりも出火防止対策が強化された場合の効果を評価した(冬夕、風速8m/sの場合)。「首都直下型地震の被害想定と対策について(最終報告)【別途資料1】～人的・物的被害(定量的な被害)～」平成25年12月 内閣府 中央防災会議 首都直下型地震対策検討ワーキンググループより

突然の地震発生…

地震発生直後は、家の中をそのままにして逃げるのに必死。その後のことなんて、考える余裕なんてありません!



感震ブレーカ機能がないと避難後の家の中は…

地震発生後は多くの世帯で停電が発生します。主幹ブレーカを落とさずに避難すると、電気が復旧した時、電気製品が再び作動します。



地震による電気火災への備えとして…

阪神淡路大震災、東日本大震災では多くの家が地震火災によって焼失しました。過去の大地震で発生した火災原因のうち、火元が特定された建物火災の6割が電気火災によるものでした。大地震はいつ起こるか予測することは出来ません。大切なご自宅を地震における電気火災からお守りするために、河村電器産業は**感震ブレーカ機能付ホーム分電盤**の設置を推奨します。

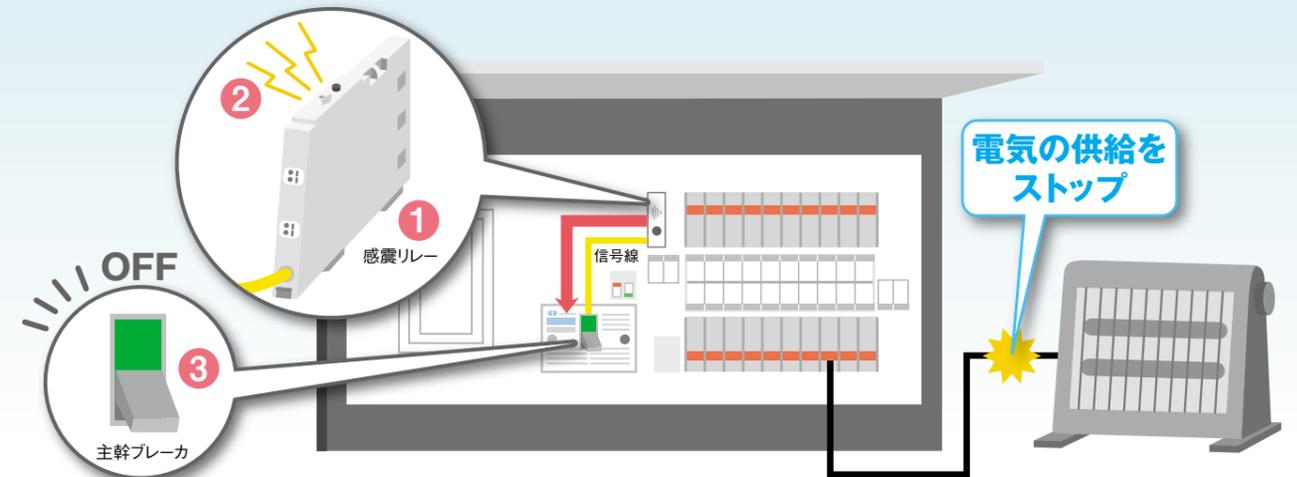
木造住宅密集市街地における重点的な普及促進として、切迫性の高い首都直下地震対策特別措置法に基づく緊急対策区域や南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく推進地域について重点的に取り組みを進め、10年を一つの区切りに感震ブレーカー（感震機能付の分電盤、簡易タイプなど）を25%以上の世帯への普及に向け、総合的・継続的な取組が進められることが期待される。
（内閣府 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と促進について（報告）」平成27年3月より）

地震における電気火災の発生例



感震ブレーカ機能付ホーム分電盤は、
地震による電気火災から守ります！

感震ブレーカ機能付ホーム分電盤の仕組み



- 1 感震リレーが震度5強以上の地震を感知
- 2 地震を感知すると、ランプとブザーでお知らせ
- 3 感震リレーからの信号により主幹ブレーカで電源を遮断

地震がおさまって電気が復旧したときが危険！
 大地震が来ると送電線の保安点検のため一時的に停電になるケースがありますが、電気が復旧したときに倒れた電気ストーブなどによる電気火災の危険が潜んでいます。

感震ブレーカ機能付ホーム分電盤があれば…

震度5強以上の地震を感知した場合、3分間の警報の後、主幹ブレーカを自動的に遮断します。また、地震感知から3分の間に停電した場合は、警報は出ませんが、復電時に、主幹ブレーカを自動的に遮断するので2次災害を防げて安心です。

内線規程2016年追補版で新たに施設が推奨されました※

※内線規程2016年 追補版 1編 総則 3章 保安原則 1365節 配電盤及び分電盤の 1365-10 感震遮断機能付住宅用分電盤が改定され、「地震時等に著しく危険な密集市街地」の住宅などには、感震遮断機能付住宅用分電盤の施設が勧告、それ以外の住宅などには施設が推奨されました。



※上記イラストは、遮断時間3分、震度5強の設定でのイメージです。

